

天晴れ

高橋睦美

コロナ禍の面会制限の中
久しぶりに会った母は
顔を見るなり

ベッドから上半身を振り

「来てくれたん」

半年前にも痛めた胆嚢の先端
総胆管の出口に詰まった石が
食事の度に

発熱 嘔吐 痛みを伴う

診察室の丸い固い椅子

ちよこんと座る母

医者は咳払い一つの後

「このままで点滴の食事をするのと

手術して口から食事するのと

どっちがいいですか」

二者択一を迫る

見守る者を尻目に

「そりゃあ口から食べる方がえーいね」と言い放つ

自ら手術を選択し安心したのか

饒舌になり

近所の人の安否

孫の様子

畑のでき具合

入れ歯のない聞き取りづらいおしゃべりが
取り留めなく続く

内視鏡や麻酔の恐怖を振り払い

生への執着を示してくれた

九十二歳の母

天晴れ